



北海道遺産

Hokkaido Heritage

北海道遺産とは

次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物です。豊かな自然はもちろん、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など有形・無形の財産の中から、道民参加によって選ばれました。

平成13年10月に第1回選定分25件が、平成16年10月に第2回選定分27件が決まり、52件の北海道遺産が誕生しています。

北海道遺産構想とは

まちの宝物を探し、それを守り、磨き、活用する過程で、まちの元気や魅力の種を育み、新しい魅力をもった北海道を創造していく運動です。北海道遺産の多くには、北海道遺産に深く関わりながら活動する「担い手」の市民が存在し、官主導ではない構想の象徴となっています。すでに、北海道遺産が所在するまちでは様々な活動が展開されるとともに、企業によるツアーや北海道遺産関連の商品開発も進み、この構想は着実に歩み始めています。

7



土の博物館「土の館」 [上富良野町]

北海道開拓が過酷な気象条件の中で進められた経緯や、土と人間の関わりの大切さを伝えている。特に高さ4mの巨大な土の標本展示は、世界に類を見ない。

4



留萌のニシン街道(旧佐賀家漁場、旧花田家番屋、岡田家と生活文化) [留萌市、小平町、苫前町]
ニシン漁は、松前藩の時代から北上するニシンを追い、地域にさまざまな物語を残した。留萌のニシン街道には当時の漁の賑わいや文化が色濃く残っている。

1



稚内港北防波堤ドーム [稚内市]

世界でも類を見ない独特の景観と構造を持つ半アーチ式防波堤ドーム。港湾土木史に残る傑作であるとともに、旧樺太航路時代の記憶を残す歴史遺産。

8



雨竜沼湿原 [雨竜町]

山地湿原の中では道内最大の高層湿原。道指定天然記念物、暑寒別・天売・焼尻国定公園特別保護地区。地元では「雨竜沼湿原を愛する会」が地道な活動を展開。

5



増毛の歴史的建物群 (駅前の歴史的建物群と増毛小学校) [増毛町]

「旧商家丸一本間家」を始め、石造りや木造の歴史的な建物が並ぶ増毛駅周辺。また、増毛小学校は戦前期都市型木造校舎として、北海道で最も古いもの。

2



宗谷丘陵の周氷河地形 [稚内市]

宗谷丘陵の特徴的な地形は、約2万年前、氷河周辺部での凍結融解の繰り返しによって形成された。上空から眺めると、谷が樹枝状に延びる地形がよくわかる。

9



北海道幹線水路 [空知地域]

大正13年に着工された北海道首工(赤平市)を起点に南幌町まで延長約80km、農業専用では国内最長の用水路。北海道の穀倉を支える重要な役割を果たす。

6



旭橋 [旭川市]

旭川市を流れる石狩川に架かる橋。昭和7年、鋼鉄製のアーチ曲線を描く橋が当時の最新技術をもって竣工。70数年を経てもなお市民の生活と共にある。

3



天塩川 [流域市町村]

北海道第2位の長大河川。幕末の探検家松浦武四郎が調査の途上で「北海道」の命名をしたとされる場所がある。日本有数のカヌー適地としても知られている。